様式第２号（第３条関係）

審 議 会 会 議 録

会 議 名 称	平成29年度第１回伊達市上下水道事業経営審議会		
議　　題	報告第１号　平成28年度・平成29年度上下水道事業・簡易水道事業の概要及び経営状況について		
開 催 日 時	平成29年10月25日（水）　13：25～14：15		
場　　所	市民活動センター 交流室３・４		
出 席 者	出席委員９名（欠席委員１名）		
	所管部課名	建設部水道課・下水道課　13名	
公開非公開の別	■ 公　開	傍聴者の人数	なし
	□ 非公開	非公開の理由	

【会議の概要】
（欠席した委員からは事前にその旨の連絡があったため、予定時刻より５分早く開会）
１　開　会
２　会長挨拶
３　議　事
(1) 平成28年度・平成29年度上下水道事業・簡易水道事業の概要及び経営状況について

○会　長　　報告第１号の「平成28年度・平成29年度上下水道事業・簡易水道事業の概要及び経営状況について」事務局から一括報告願います。
説明は、水道事業、簡易水道事業、下水道事業の順に行い、その後、事業ごとに質疑をお受けしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

●事務局　（水道事業、簡易水道事業、下水道事業の順に資料を説明する。）

○会　長　　ただいま事務局から説明がありましたが、質疑をお受けしたいと思います。
まず、最初に水道事業について、ご質問、ご意見がございましたらお受けいたします。

（「なし」との声あり）

○会　長　　次に、簡易水道事業について、ご質問、ご意見がございましたらお受けいたします。お受けいたします。

（「なし」との声あり）

○会　長　　次に、下水道事業について、ご質問、ご意見がございましたらお受けいたします。

○委員Ａ　　災害復旧費という言葉が組み込まれていますが、今年もつい先日、水害が街の中で発生したということで、雨水整備というのがありますけれども、そういったこととは関係ないのか、たまたま今回が特殊だったのかどうかというあたりが、一般市民として聞きたいところなのですが。お願いします。

●事務局　　今回の災害につきましては、紋別川の上流の関内地区にある大橋に流木が挟り川が閉塞し、そこから道路に水が流れ出たということと、水車アヤ

メ川が越流し市街地に溢れ出たということが原因です。雨水幹線ではなく、河川の氾濫が原因でした。

●事務局　　今回の台風で下水道施設の被害はありませんでした。

○委員Ａ　　色々と要素によってすみわけができているということですね。河川の方の災害復旧費なので下水道事業には出てこないということですね。分かりました。

○会　長　　他にございませんでしょうか。

○委員Ｂ　　１ページ目の伊達処理区の水洗便所等資金貸付金収入ですが、先ほど説明があったかもしれませんが、平成29年度の予算が3,640千円となっていますが、例年よりも低い理由を教えてください。

●事務局　　貸付金収入につきましては、先ほどの説明の中でも若干触れましたが、下水道の供用開始から３年以内に接続する方に対して、市と金融機関との協定により、金融機関が無利子で資金を貸し付けしておりまして、その運用の原資に対する預託金の払戻金になりますが、近年、貸付希望者が減少傾向にあり予算額も減少しているという状況です。

●事務局　　参考までに、予算自体は不足しないよう多少の余裕をもって計上しておりますが、決算になりますと例年程度の状況になると見込んでおります。

○会　長　　他にございませんでしょうか。

○委員Ｂ　　先ほどの委員Ａの質問に関連しますが、信金の前は川が氾濫する前に水溜りになっていたような気がします。雨水の排水処理の方法というか配管の関係で先に溢れていたのでしょうか。記憶違いでしたら申し訳ありませんが、国道とか街中に水が溢れ出る前に完全に水溜りになっていましたので。

●事務局　　冠水箇所は全て把握できておりません。水車アヤメ川のどこかが越水していたのかもしれません。水は高いところから低いところに流れますので、道路の構造、高低により信金さんのところに水が集まったということも考えられます。

○委員Ｂ　　雨水管はどこに繋がっているのでしょうか。

●事務局　　ほとんどは河川か海に繋がっています。河川ですと気門別川やシャミチセ川、その他は海に直接放流しています。今回の台風では、放流先で溢れ出たという形跡はありませんでした。

○会　長　　他にございませんでしょうか。

○委員Ａ　　全ての資料が伊達処理区と大滝処理区に分かれて記載されており、合併してから分かり易くこのようにしていると思いますが、これは、いつまでこの体制をとる考えなのでしょうか。うがった見方をすると、大滝処理区と伊達処理区を合体させて平均値を出すと、他の都市とか町に比べて高くついてしまうのが嫌なので、今このように苦肉の策として分けて出されているのかなと思ったのですけれど、その辺りはどうなのでしょうか。

●事務局　　伊達処理区は伊達終末処理場で処理している旧伊達市の経費、大滝処理区は大滝下水道管理センターで処理している大滝区の経費で、処理する場所、過程が違いますので、それぞれの処理場に対する経費として別々に計上しております。

○委員Ａ　　他の都市も処理する場所が違うと分けているのでしょうか。

●事務局　　他の都市も分けていると思います。例えば、国や北海道への調査報告なども分けておりまして、以前は伊達処理区も伊達処理区と有珠処理区に分かれていましたが、計画変更を行い、有珠処理区を伊達処理区に統合したため現在は伊達処理区のみとなっております。

仮に大滝処理区を伊達処理区に統合するというような計画があった場合は、その時は伊達処理区のみの記載となります。ほとんどの自治体が同様に処理区分けの扱いをしていると思います。

○委員Ａ　　分かりましたありがとうございます。

４　そ の 他

○委員Ａ　　資料のほとんどが膨大な数字となっていまして、はっきり申し上げて家ではサラッとしか資料を見ていない状況です。

説明をされている時にページ数を言っていただいていますが、どこの箇所を言っているのか目では追えません。資料を映写して、いわゆる指差しとかマーカーがあれば手元の資料と比べて見ることができます。

パソコンを使ってそのよう説明していただければ箇所がわかりますので、より一層、頭に理解が入ってくると思います。できればそのようにお願いしたいです。

●事務局　　次回以降、そのように対応するよう考えたいと思います。

５　閉　　会

平成29年度 第１回伊達市上下水道事業経営審議会次第

日　時：平成29年10月25日（水）
　　午後１時30分から
場　所：市民活動センター交流室３・４

１　開　会

２　会長挨拶

３　議　事
（１）報告第１号　平成２８年度・平成２９年度上下水道事業・簡易水道事業の概要及び経営状況について

４　その他

５　閉　会

平成29年度

伊達市上下水道事業経営審議会（第1回）資料

平成29年10月25日（水）開催

水　　道　　事　　業

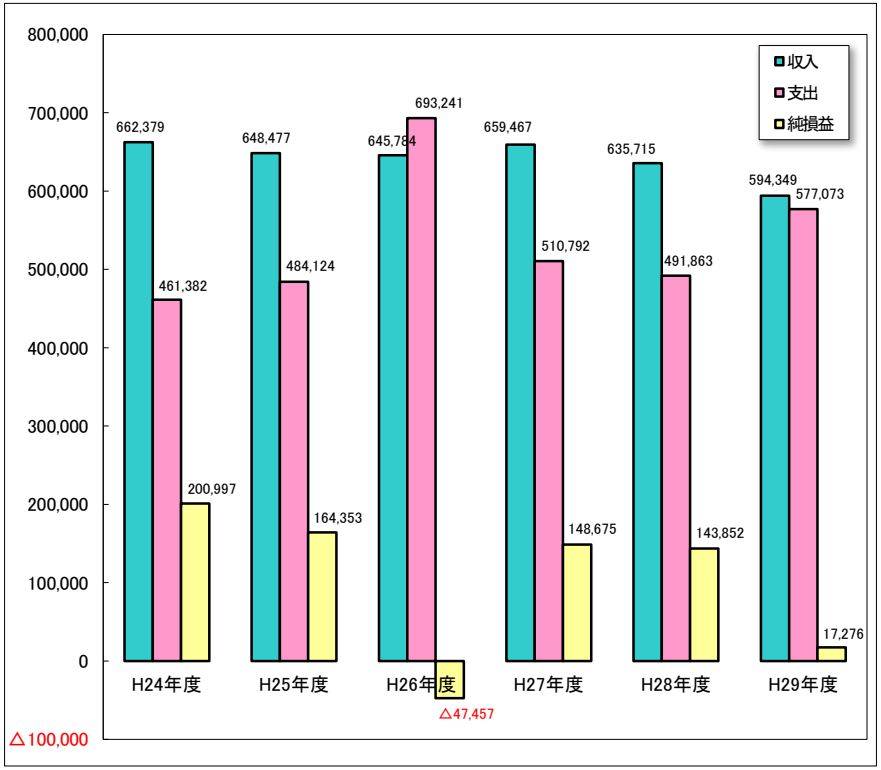
建 設 部　水 道 課

伊達市水道事業会計の財政見通し

1．収益的収支の状況

（単位:千円・税抜）

区分			H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
収入	営業収益	水道料金	604,231	587,462	566,766	570,016	531,256	513,563
		受託工事収益	2,050	2,583	1,943	1,658	1,870	3,062
		その他営業収益	54,965	56,696	52,300	49,659	45,015	53,377
	営業外収益	受取利息	148	149	148	149	59	59
		長期前受金戻入			24,095	23,881	25,098	24,287
		雑収益	30	2	532	52	213	1
		補助金	955	1,585				
	特別利益	その他特別利益				14,052	32,204	
	計		662,379	648,477	645,784	659,467	635,715	594,349
支出	営業費用	原水及び浄水費	86,051	88,705	94,419	97,346	100,349	115,057
		配水及び給水費	29,092	24,659	28,219	27,671	28,811	42,053
		受託工事費	1,830	2,034	1,708	1,480	1,397	2,720
		業務費	21,305	41,839	24,396	21,606	22,325	27,202
		総係費	142,105	140,261	137,882	133,367	106,036	147,821
		減価償却費	156,053	161,759	193,058	202,679	209,633	213,856
		資産減耗費	8,836	8,759	9,454	13,509	11,190	10,462
	営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	14,770	14,188	13,530	12,786	11,772	10,717
		雑支出	407	375	2,266	348	350	7,185
		国庫補助金返還金		45	75			
	特別損失	過年度損益修正損	933	1,500				
		固定資産売却損			26,553			
		その他特別損失			161,681			
	計		461,382	484,124	693,241	510,792	491,863	577,073
純損益			200,997	164,353	△47,457	148,675	143,852	17,276

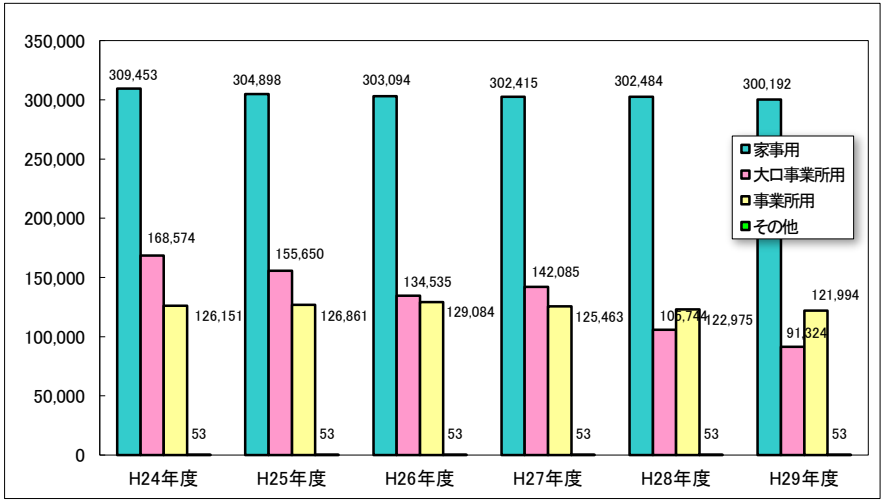


※平成28年度までは決算数値、平成29年度は当初予算数値。（平成26年度から新会計制度）
利益剰余金合計
※平成29年度の雑支出には予備費7,000千円を含む。

2．水道料金用途別推移

（単位:千円・税抜）

区分		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
家事用	金額	309,453	304,898	303,094	302,415	302,484	300,192
	%	51.2	51.9	53.5	53.1	56.9	58.5
家事用以外（大口事業所用）	金額	168,574	155,650	134,535	142,085	105,744	91,324
	%	27.9	26.5	23.7	24.9	19.9	17.8
家事用以外（事業所用）	金額	126,151	126,861	129,084	125,463	122,975	121,994
	%	20.9	21.6	22.8	22.0	23.1	23.8
その他（浴場用）	金額	53	53	53	53	53	53
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	金額	604,231	587,462	566,766	570,016	531,256	513,563
	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



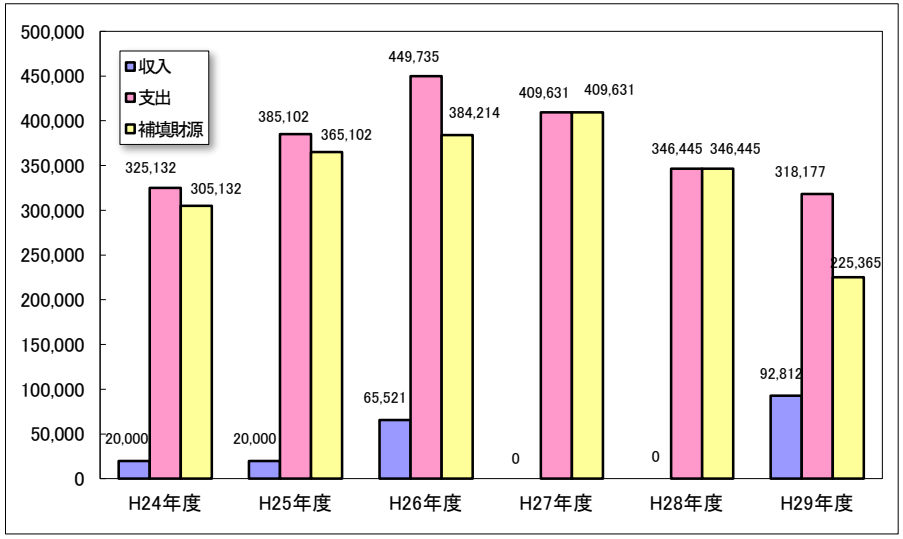
※平成28年度までは決算数値、平成29年度は当初予算数値

3. 資本的収支の状況

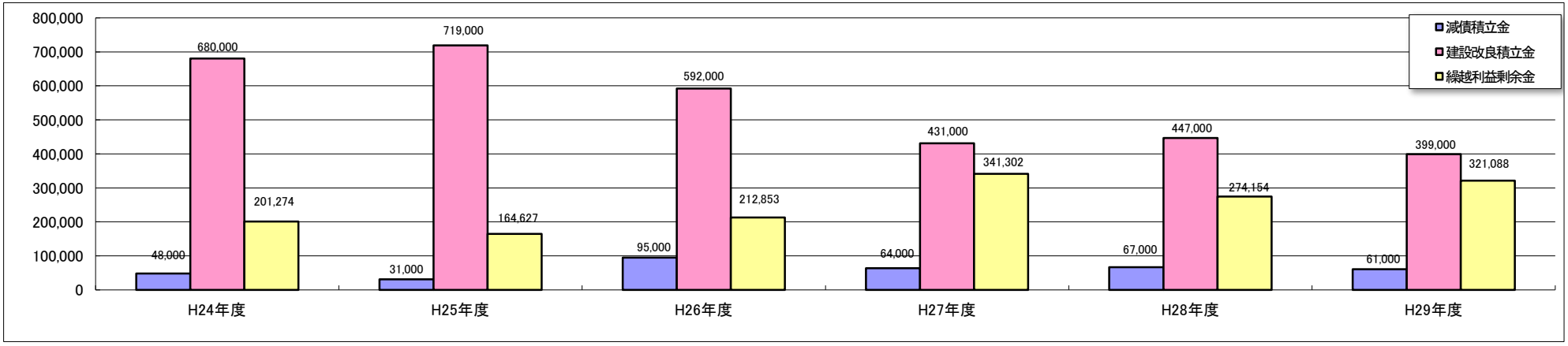
（単位：千円）

区分			H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
収入	企業債		20,000	20,000	20,000			90,000
	工事負担金				1,143			2,812
	補助金							
	固定資産売却代金				44,378			
	補填財源		305,132	365,102	384,214	409,631	346,445	225,365
	計		325,132	385,102	449,735	409,631	346,445	318,177
支出	建設改良費	固定資産取得費	37,944	58,258	53,209	49,948	39,975	48,795
		施設整備費	14,585	10,248	30,651	57,348	82,048	64,876
		一般配水管設備費	246,049	288,156	335,821	270,626	190,998	170,282
	企業債償還金（元金）		26,554	28,440	30,054	31,709	33,424	34,224
	国庫補助金返還金							
	計		325,132	385,102	449,735	409,631	346,445	318,177

※平成28年度までは決算数値、平成29年度は当初予算数値



4. 利益剰余金の推移



（単位：千円）

区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
利益剰余金合計	929,274	914,627	899,853	836,302	788,154	781,088
減債積立金	48,000	31,000	95,000	64,000	67,000	61,000
建設改良積立金	680,000	719,000	592,000	431,000	447,000	399,000
繰越利益剰余金	201,274	164,627	212,853	341,302	274,154	321,088

※平成28年度までは決算数値、平成29年度は当初予算数値

5.給水原価と供給単価の推移

（単位：円）

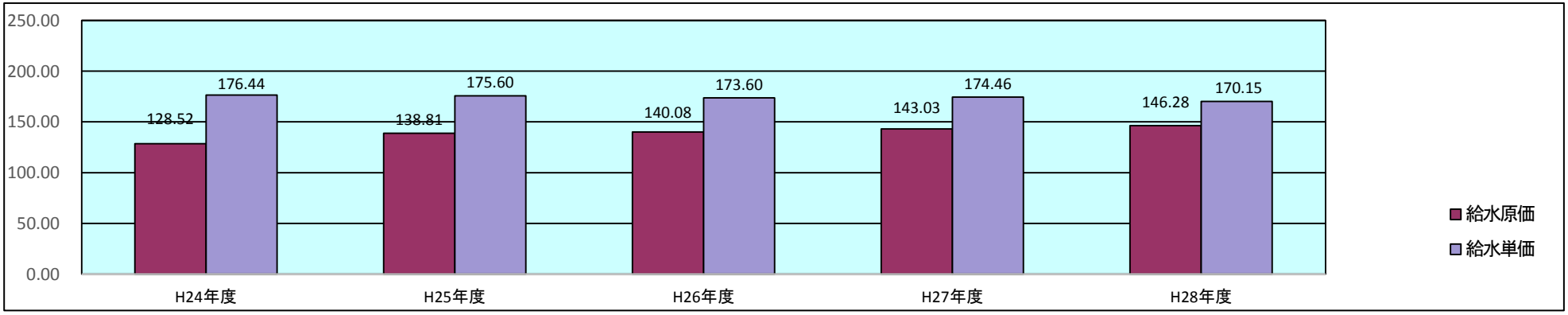
区　　分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
給　水　原　価	128.52	138.81	140.08	143.03	146.28
供　給　単　価	176.44	175.60	173.60	174.46	170.15
差　　額	47.92	36.79	33.52	31.43	23.87

有収水量1㎥（1,000ﾘｯﾄﾙ）の水をつくり各家庭などまで運ぶ費用

有収水量1㎥（1,000ﾘｯﾄﾙ）あたりの給水収益

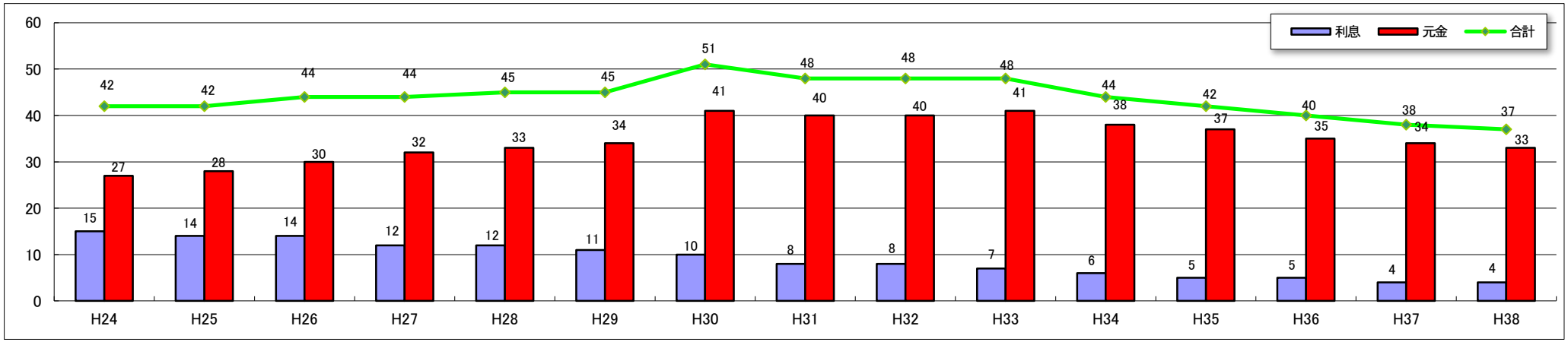
$$\text{給水原価} = \frac{\text{経常費用}-(\text{受託工事費}+\text{受託工事の人件費}+\text{材料売却原価}+\text{付帯事業費+長期前受金戻入})}{\text{年間総有収水量}}$$

$$\text{供給単価} = \frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$$

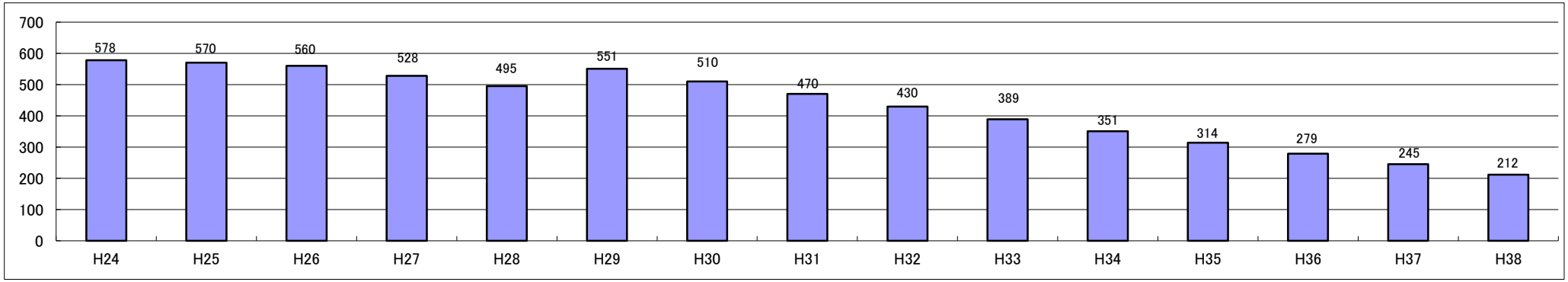


6. 企業債償還状況

元金、利息別償還状況の推移と今後の見込み　　（単位：百万円）



未償還残高（元金）の推移と今後の見込み　　（単位：百万円）



（単位：千円）

年　度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
利　　息	14,770	14,188	13,531	12,786	11,772	10,715	9,684	8,711	7,860	7,013	6,196	5,491	4,865	4,297	3,782
元　　金	26,555	28,440	30,054	31,709	33,423	34,224	41,102	39,639	40,156	40,374	38,381	36,761	35,322	34,052	33,062
合　　計	41,325	42,628	43,585	44,495	45,195	44,939	50,786	48,350	48,016	47,387	44,577	42,252	40,187	38,349	36,844
前年度比較	1,607	1,303	957	910	700	△ 256	5,847	△ 2,436	△ 334	△ 629	△ 2,810	△ 2,325	△ 4,390	△ 6,228	△ 5,408
借 入 額	20,000	20,000	20,000	0	0	90,000									
残　　高	578,583	570,143	560,089	528,380	494,957	550,733	509,631	469,992	429,836	389,462	351,081	314,320	278,998	244,946	211,884

平成28年度　工事実施箇所

位　置　図

1：50,000

西通り線配水管移設工事その２

西通り線配水管移設工事

アヤメ通り線配水管新設工事

宮前1号線配水管布設替工事

宮前4号線配水管布設替工事

国道453号配水管布設替工事

南峰線配水管布設替工事

国道37号（末永町）外配水管布設替工事

西末永7号線配水管新設工事

竹原通配水管新設工事

道道滝之町伊達線配水管新設工事

新生線配水管布設替工事

末永6号線配水管布設替工事

旭ヶ岡線配水管移設工事

道道南黄金長和線配水管布設替工事

旭1号線配水管布設替工事

道道南黄金長和線配水管布設替工事その２

黄金本通り線配水管布設替工事

内浦湾（噴火湾）

凡　　例

- 現上水道給水区域
- 平成27年度末整備済地域
- 飲料水供給施設のある未普及地域
- 未普及地域
- 平成28年度工事実施箇所

平成29年度　工事予定箇所

位　置　図

1：50,000

竹原通配水管新設工事
竹原通配水管新設工事その２

梅本6号線配水管布設替工事

旭ヶ岡線配水管移設工事

北黄金水系導水管布設替工事

道道南黄金長和線配水管布設替工事

長和水系導水管新設工事

長和境線配水管新設工事

国道453号配水管布設替工事

西萩原通り線配水管移設工事

国道37号（末永町・梅本町）配水管布設替工事

国道37号（館山町）配水管布設替工事

テイネ線配水管布設替工事

黄金本通り線配水管布設替工事

内浦湾（噴火湾）

凡　　例

- 現上水道給水区域
- 平成28年度末整備済地域
- 飲料水供給施設のある未普及地域
- 未普及地域
- 平成29年度工事予定箇所

平成29年度

伊達市上下水道事業経営審議会（第1回）資料

平成29年10月25日（水）開催

簡　易　水　道　事　業

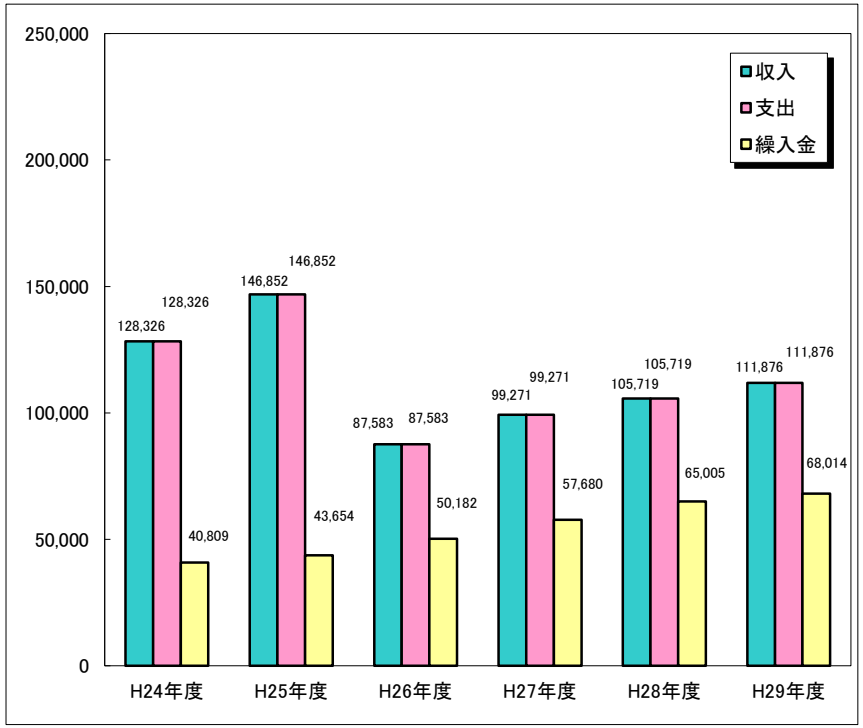
建設部　水道課

大滝区簡易水道事業会計の財政

1. 簡易水道事業会計の財政状況

（単位:千円）

区分			H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
収入	使用料及び手数料	簡易水道使用料	39,540	38,263	36,685	36,746	32,671	38,395
		簡易水道手数料	217	222	184	45	443	65
	国庫支出金	簡水建設費補助金	6,679	8,954	0	0	0	0
	繰入金	一般会計繰入金	40,809	43,654	50,182	57,680	65,005	68,014
	繰越金	前年度繰越金	0	0	0	0	0	1
	雑入	雑入	81	759	532	0	0	1
	市債	簡易水道事業債	41,000	55,000	0	4,800	7,600	5,400
	計		128,326	146,852	87,583	99,271	105,719	111,876
支出	簡易水道事業費	一般管理費	14,566	12,495	12,060	20,973	23,428	22,927
		維持管理費	24,160	22,997	30,792	33,486	40,092	42,698
		簡易水道建設費	47,832	67,441	7	0	0	0
	公債費	長期債償還元金	29,142	31,900	33,202	34,244	31,690	36,193
		長期債償還利子	12,626	12,019	11,522	10,568	9,585	9,058
	予備費	予備費	0	0	0	0	0	1,000
	災害復旧費	災害復旧費	0	0	0	0	924	0
	計		128,326	146,852	87,583	99,271	105,719	111,876

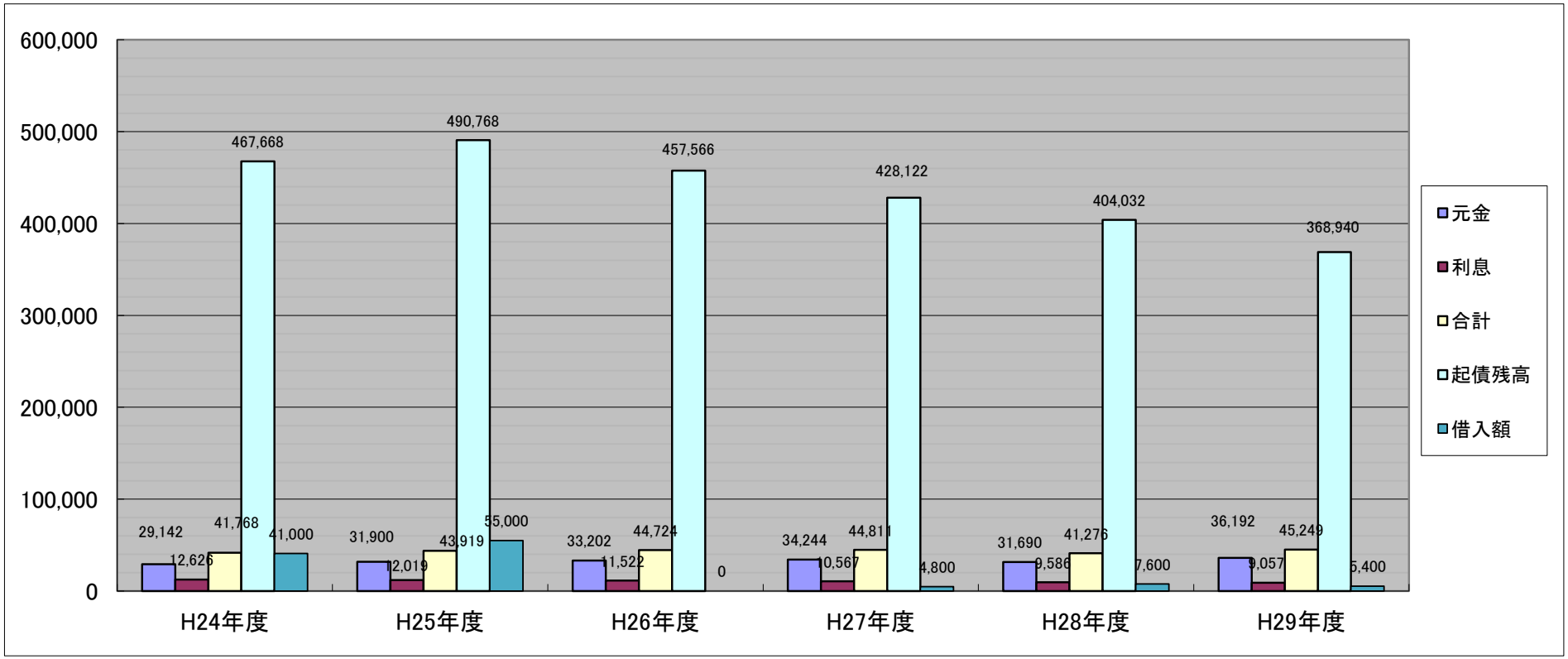


＊平成28年度までは決算数値、平成29年度は予算数値

2. 起債償還状況の推移

（単位：千円）

区分		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
起債残高		467,668	490,768	457,566	428,122	404,032	368,940
償還額	元金	29,142	31,900	33,202	34,244	31,690	36,192
	利息	12,626	12,019	11,522	10,567	9,586	9,057
	合計	41,768	43,919	44,724	44,811	41,276	45,249
借入額		41,000	55,000	0	4,800	7,600	5,400



＊平成28年度までは決算数値、平成29年度は予算数値

3. 給水原価と供給単価

（単位：円）

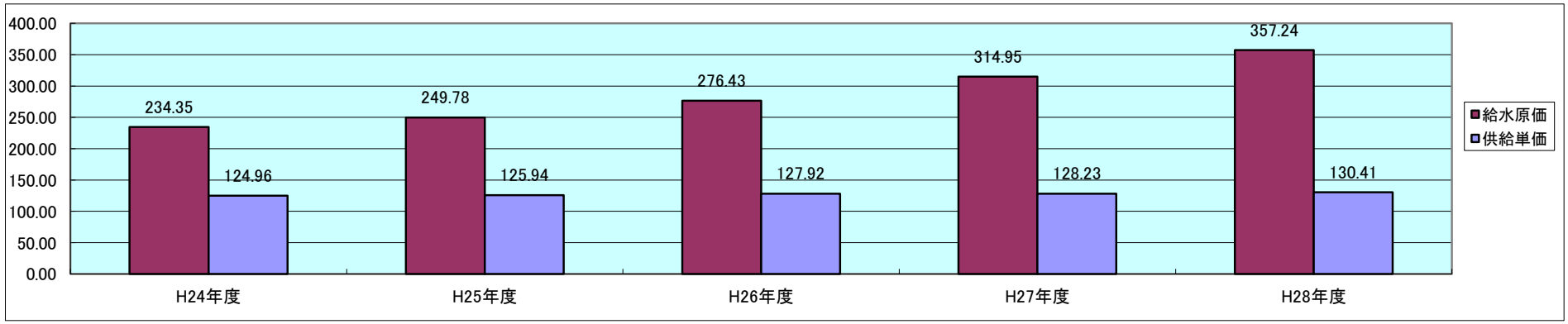
区　　分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
給水原価	234.35	249.78	276.43	314.95	357.24
供給単価	124.96	125.94	127.92	128.23	130.41
差額	−109.39	−123.84	−148.51	−186.72	−226.83

有収水量1㎥（1，000㍑）の水をつくり各家庭などまで運ぶ費用

有収水量1㎥（1，000㍑）の収益

$$給水原価 = \frac{総費用 - 受託工事費 + 地方債償還金 - 繰上償還分}{年間総有収水量}$$

$$供給単価 = \frac{料金収入}{年間総有収水量}$$



伊達市大滝区全図

簡易水道等施設整備図
一般平面図

伊達市

大滝区簡易水道事業

本町浄水場
本町配水池
既設増圧ポンプ場
既設増圧ポンプ場
優徳浄水場
優徳配水池
優徳第２配水池造成・基礎
（平成26年度中止）
北湯沢浄水場
北湯沢第１配水
北湯沢第２配水
専用水道
隣接距離
至　伊達市上水道区域まで

送水管HPPEφ75mm　L=2,799m
（平成25年度実施）

送水管HPPEφ75mm　L=2,107m
（平成24年度実施）

凡	例
	簡易水道区域
	専用水道
	翌年度以降整備事業
	過年度整備済事業

1:50,000

平成29年度

伊達市上下水道事業経営審議会（第1回）資料

平成29年10月25日（水）開催

下　水　道　事　業

建設部　下水道課

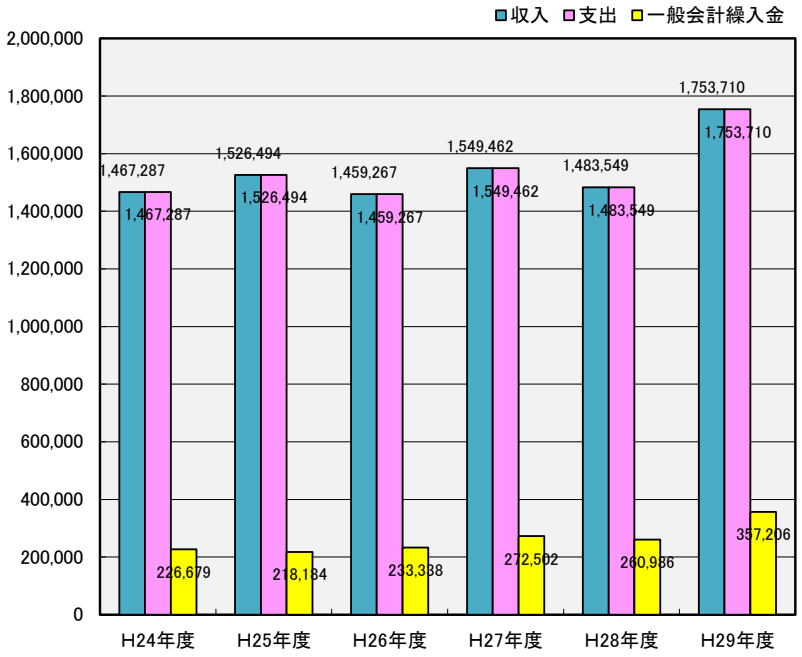
１．下水道事業会計の財政

(1) 下水道事業会計の財政状況

※H29年度は予算数値

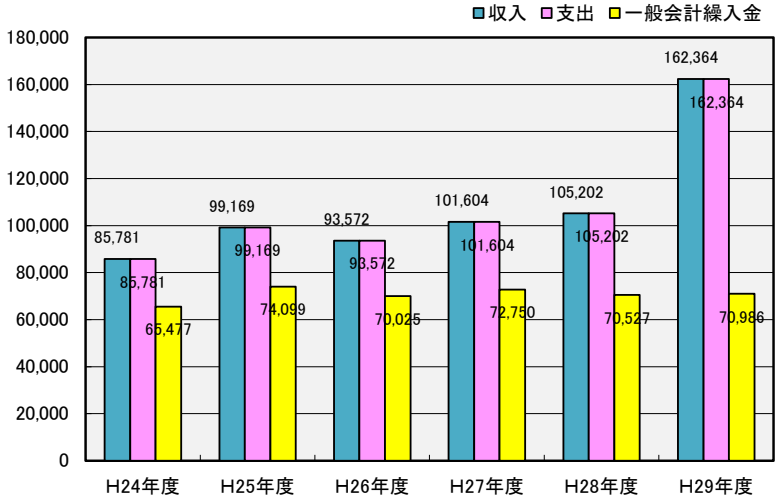
〔伊達処理区〕　　（単位：千円）

区分		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
収入	下水道使用料	687,619	685,412	698,837	711,174	724,804	711,691
	市債	355,600	390,500	321,200	302,300	265,100	352,200
	国庫補助金	110,475	144,079	123,848	187,027	157,248	246,800
	一般会計繰入金	226,679	218,184	233,338	272,502	260,986	357,206
	受益者負担金	14,746	13,268	2,337	2,209	2,488	2,312
	下水道事業分担金	19,843	17,698	21,946	17,265	11,303	8,910
	汚水処理施設共同整備事業負担金	15,451	11,735	13,738	14,631	15,702	15,338
	水洗便所等資金貸付金収入	2,419	2,191	2,098	1,384	827	3,640
	下水道施設等使用料	316	324	337	222	222	222
	下水道手数料	34	51	45	54	52	41
	し尿等処理業務受託収入	32,490	33,621	32,049	30,612	30,577	35,333
	その他	1,615	9,431	9,494	10,082	14,240	20,017
	計	1,467,287	1,526,494	1,459,267	1,549,462	1,483,549	1,753,710
支出	建設費	269,047	337,514	298,378	421,270	345,324	517,568
	維持管理費	340,216	334,696	337,518	336,622	356,859	429,254
	資本費	841,691	835,689	804,903	764,165	754,423	777,422
	その他	16,333	18,595	18,468	27,405	25,696	29,466
	災害復旧費					1,247	
	計	1,467,287	1,526,494	1,459,267	1,549,462	1,483,549	1,753,710



〔大滝処理区〕　　（単位：千円）

区分		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
収入	下水道使用料	20,304	19,150	19,047	20,725	19,816	24,511
	市債				3,800	2,900	31,600
	国庫補助金		5,920	4,430	4,260	3,550	35,200
	一般会計繰入金	65,477	74,099	70,025	72,750	70,527	70,986
	下水道事業分担金			67	67	67	67
	下水道手数料			3	2	2	
	その他					8,340	
	計	85,781	99,169	93,572	101,604	105,202	162,364
支出	建設費		12,246	8,860	8,520	6,880	70,400
	維持管理費	32,792	37,012	38,670	46,474	52,160	46,617
	資本費	52,271	49,062	45,253	45,253	44,725	44,580
	その他	718	849	789	1,357	1,300	767
	災害復旧費					137	
	計	85,781	99,169	93,572	101,604	105,202	162,364



※維持管理費には下水道使用料の賦課徴収に関する経費等を含んでいます。

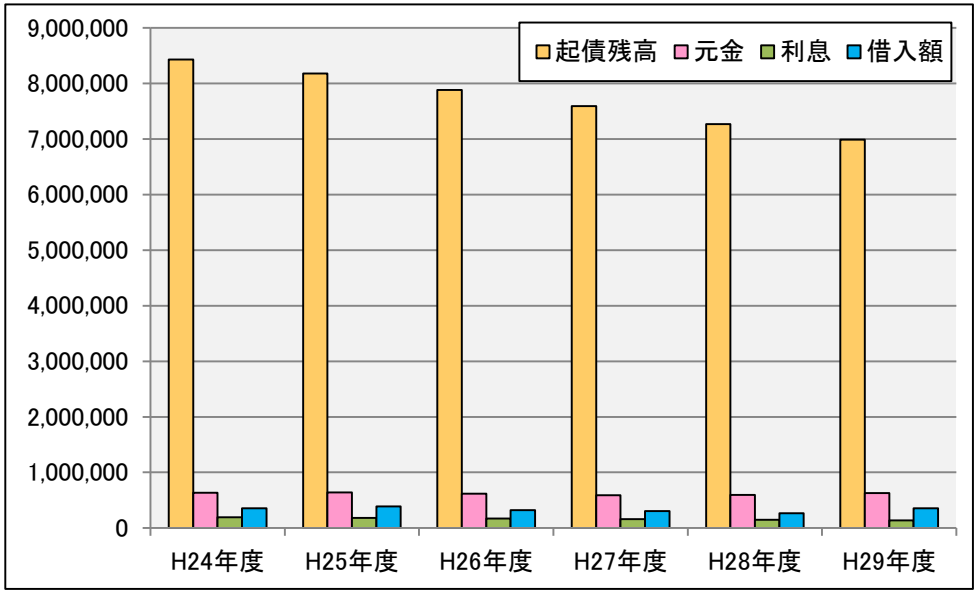
(2) 起債償還状況の推移

〔 伊達処理区〕

（ 単位 ： 千円）

区分		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
起債残高		8,429,540	8,180,365	7,882,123	7,593,934	7,265,287	6,989,866
償還額	元金	635,654	639,675	619,442	590,489	593,747	627,621
	利息	192,567	182,550	172,002	160,223	147,043	135,658
	合計	828,221	822,225	791,444	750,712	740,790	763,279
借入額		355,600	390,500	321,200	302,300	265,100	352,200

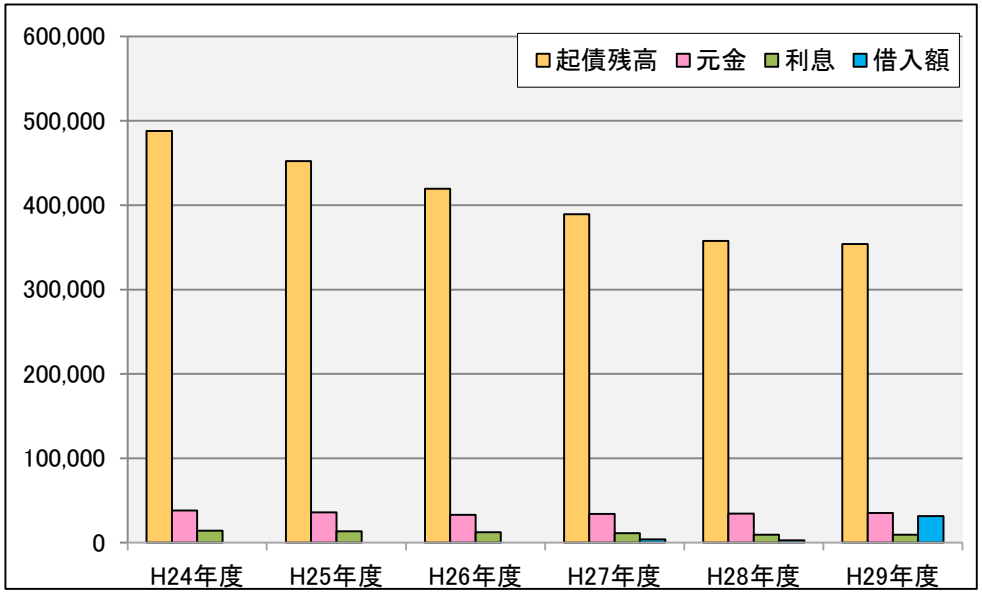
※一般廃棄物処理事業債を除く



〔 大滝処理区〕

（ 単位 ： 千円）

区分		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
起債残高		488,010	452,230	419,289	389,181	357,708	354,068
償還額	元金	38,000	35,780	32,941	33,908	34,373	35,240
	利息	14,271	13,281	12,312	11,345	9,329	9,338
	合計	52,271	49,061	45,253	45,253	43,702	44,578
借入額		0	0	0	3,800	2,900	31,600

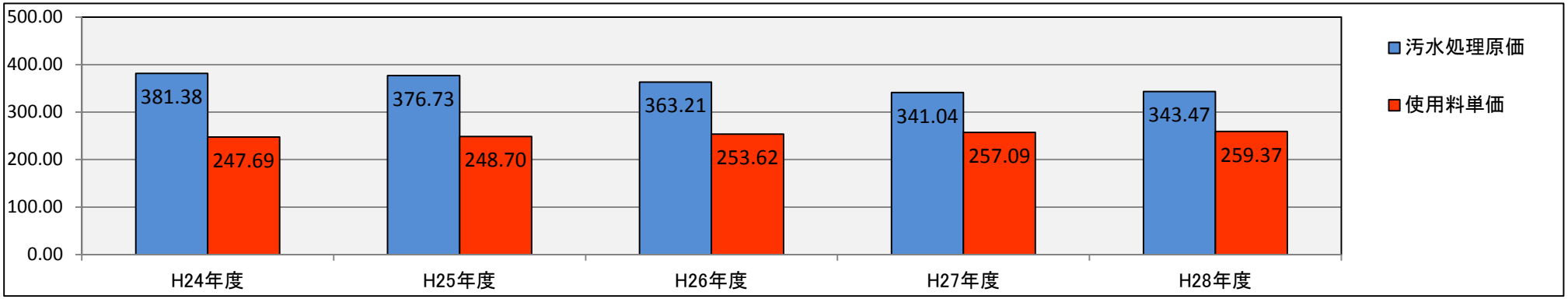


(3) 汚水処理原価と使用料単価

〔 伊達処理区〕

（ 単位 ： 円）

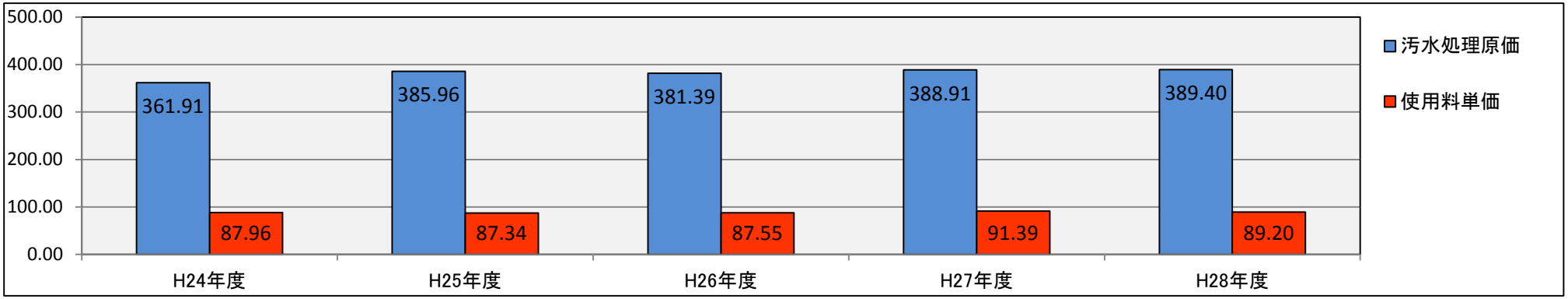
区　　分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	説　　明
汚 水 処 理 原 価	381.38	376.73	363.21	341.04	343.47	有収水量1 ㎥あたりの汚水処理費 ： （維持管理費＋資本費）÷年間有収水量
使 用 料 単 価	247.69	248.70	253.62	257.09	259.37	有収水量1 ㎥あたりの使用料収入 ： 使用料収入÷年間有収水量
差　　額	▲133.69	▲128.03	▲109.59	▲83.95	▲84.10	



〔 大滝処理区〕

（ 単位 ： 円）

区　　分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
汚 水 処 理 原 価	361.91	385.96	381.39	388.91	389.40
使 用 料 単 価	87.96	87.34	87.55	91.39	89.20
差　　額	▲273.95	▲298.62	▲293.84	▲297.52	▲300.20



２．下水道事業整備状況

区分 ＼ 事項	伊達処理区（公共＋特環） 全体計画（昭和49年度～平成33年度）		伊達処理区（公共＋特環） 認可計画（昭和49年度～平成32年度）		大滝処理区（特環） 全体計画（昭和49年度～平成33年度）		大滝処理区（特環） 認可計画（昭和49年度～平成32年度）	
処理区域面積	1,225.4	ha	958.4	ha	110.0	ha	104.5	ha
処理人口	29,980	人	29,850	人	1,200	人	1,210	人
処理能力	13,500	㎥/日	13,500	㎥/日	1,530	㎥/日	1,530	㎥/日
雨水排水区域面積	1,425.1	ha	771.1	ha	－	ha	－	ha

年度	下水道普及率					整備状況						投資額												備考
	汚水					汚水			雨水			管渠費			ポンプ場費			処理場費			合計			
	人口	整備人口		水洗化人口																				
	行政人口	処理人口	普及率	水洗化人口	水洗化率	管渠整備延長	整備面積	整備率	管渠	面積	面整備率	補対	単独	計	補対	単独	計	補対	単独	計	補対	単独	計	
	千人	千人	%	千人	%	km	ha	%	km	ha	%	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
(伊達処理区) 平成28年度 実績						0.3	3.61		0.2	6.1		115.2	5.5	120.6				183.3		183.3	298.5	5.5	304.0	
	33.9	29.5	87.1%	26.7	90.5%	180.1	878.0	91.6%	9.6	118.9	15.4%	12,243.7	5,788.2	18,031.9	143.6	4.3	147.9	9,797.8	47.2	9,845.0	22,185.1	5,839.7	28,024.8	
(伊達処理区) 平成29年度 見込						0.4	0.67					43.0	10.0	53.0				341.0		341.0	384.0	10.0	394.0	
	33.9	29.5	87.1%	26.7	90.5%	180.4	878.7	91.7%	9.6	118.9	15.4%	12,286.7	5,798.2	18,084.9	143.6	4.3	147.9	10,138.8	47.2	10,186.0	22,569.1	5,849.7	28,418.8	
(大滝処理区) 平成28年度 実績																		6.9		6.9	6.9	0.0	6.9	
	1.0	0.8	81.1%	0.7	87.4%	21.3	94.9	90.8%	－	－	－	3,105.8	59.2	3,165.0	520.0	0.0	520.0	1,369.2	11.7	1,380.9	4,995.0	70.9	5,065.9	
(大滝処理区) 平成29年度 見込																		10.0		10.0	10.0	0.0	10.0	
	1.0	0.8	81.1%	0.7	87.4%	21.3	94.9	90.8%	－	－	－	3,105.8	59.2	3,165.0	520.0	0.0	520.0	1,379.2	11.7	1,390.9	5,005.0	70.9	5,075.9	

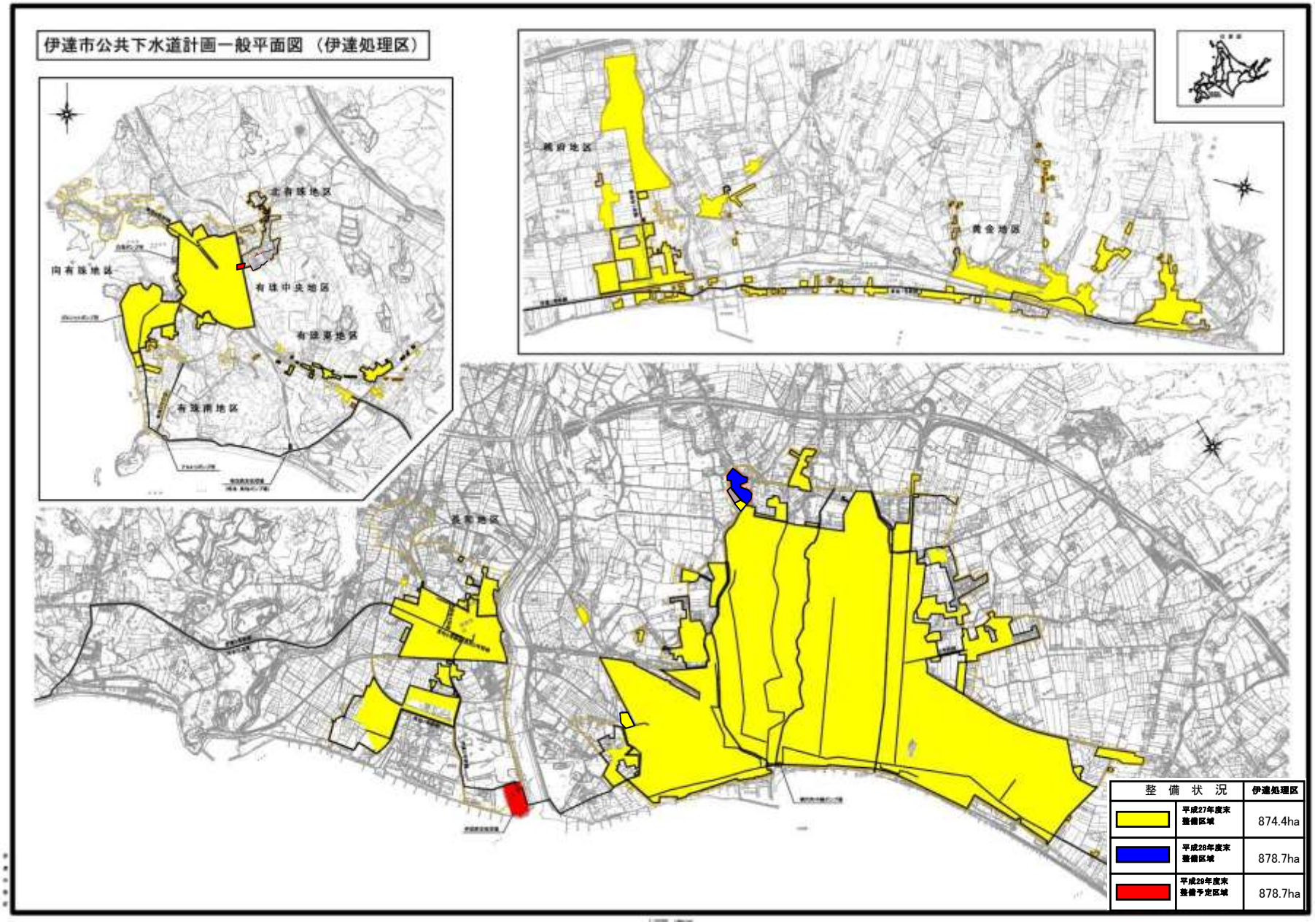
（注）　1.　行政人口は、3月末の住民基本台帳(外国人含む)人口である。

2.　整備率は、認可面積に対する割合である。

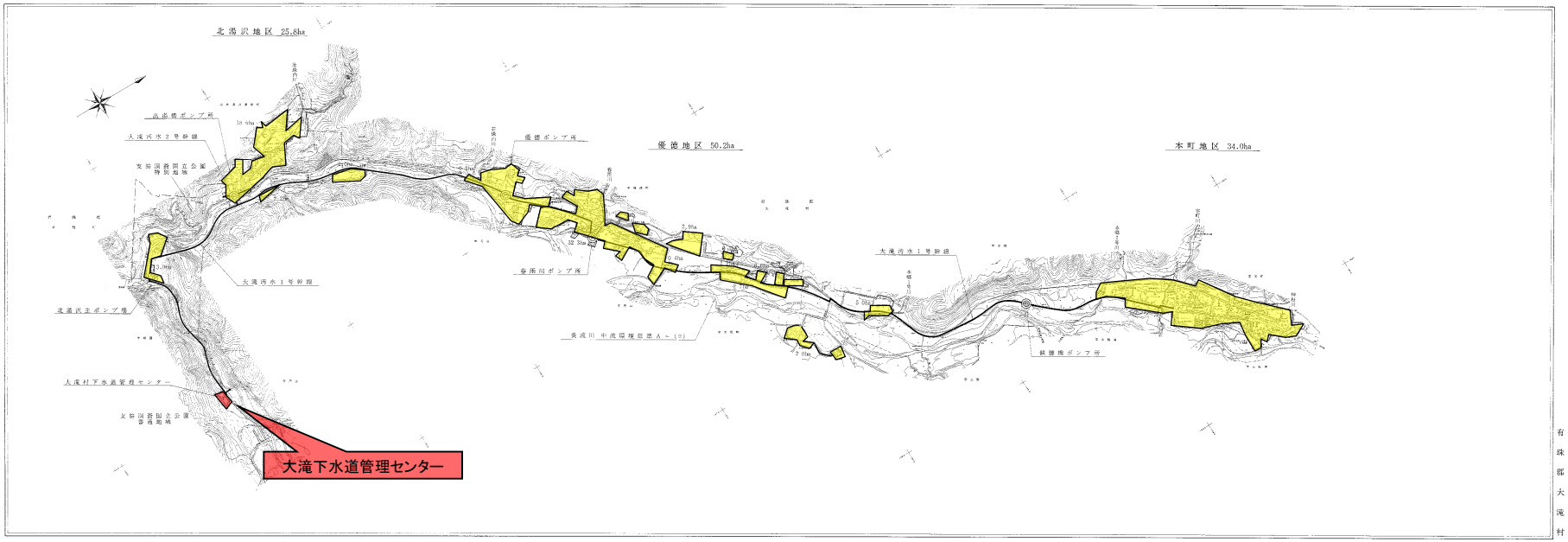
3.　水洗化率は、処理区域内人口に対する割合である。

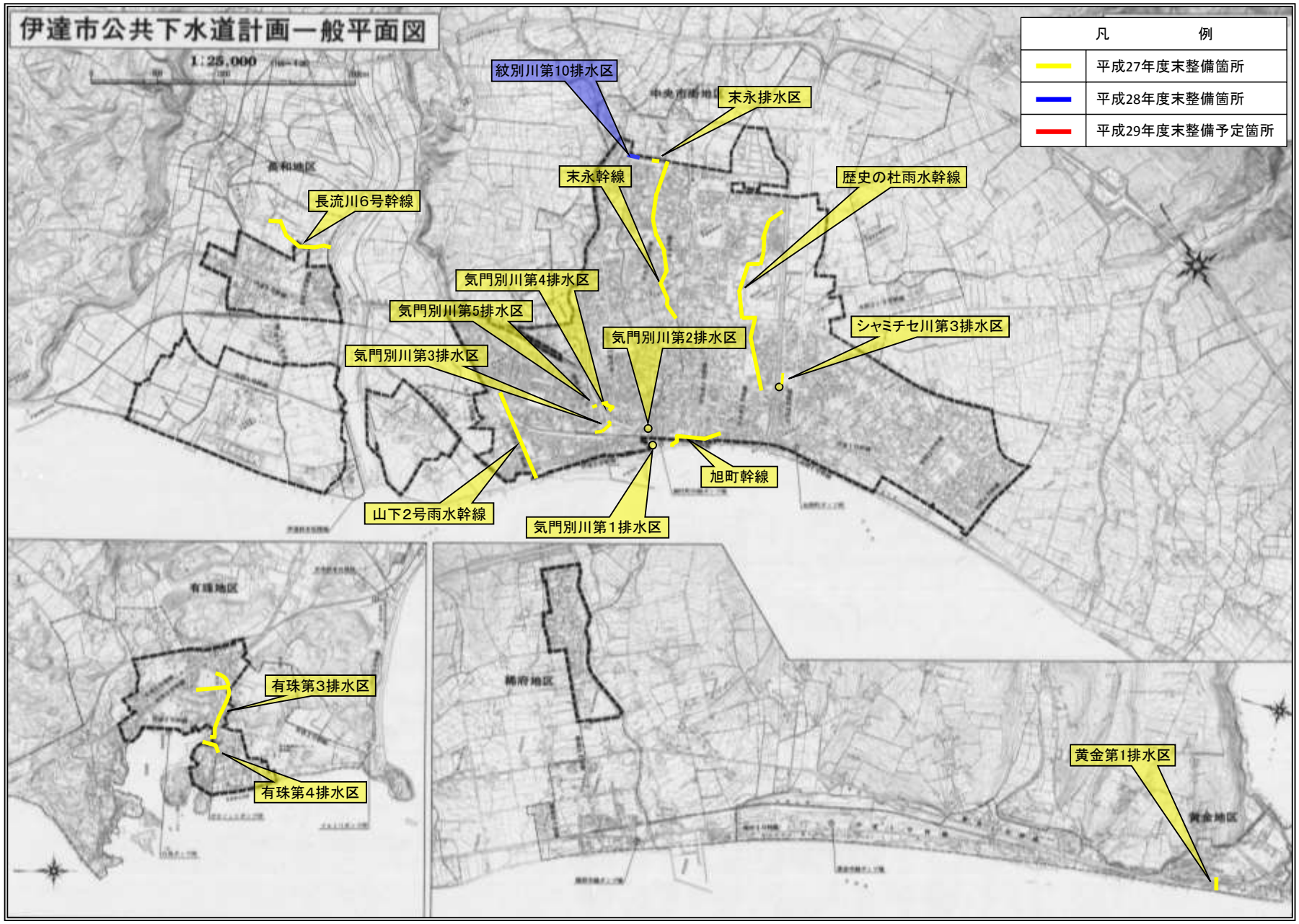
4.　上段は、当該年度分、下段は累計である。

下 水 道 事 業 整 備 状 況 図（伊達汚水）



下水道事業整備状況図(大滝区)



整備状況		大滝処理区
	平成27年度末整備区域	94.9ha
	平成28年度末整備区域	94.9ha
	平成29年度末整備予定区域	94.9ha

下 水 道 事 業 整 備 状 況 図（雨 水）